

中央図書館開館25周年記念セミナー開催



2020年に山陽小野田市立中央図書館が開館25周年を迎えたことを記念して10月25日(日)に開館25周年記念セミナーが中央図書館で開催されました。

ボランティアの皆さんのご協力の下で行われ、とても盛況だった当日のイベント等を紹介します！

中央図書館ゆるキャラ『りゅ〜ぽん』誕生！

25周年記念事業として、中央図書館のゆるキャラが募集され、応募作品の中から、山陽小野田市在住の寶田千紗都(ほうだちさと)さんの作品がグランプリを受賞しました。

本好きな子どもの竜が、竜王山に飛来するアサギマダラの柄のバッグに本を抱える姿は、とても可愛らしく親しみが湧きますね。

新しいゆるキャラの名前募集にも約200件の応募があり、審査の結果、『りゅ〜ぽん』に決まりました。

これからの活躍が期待される新キャラクターをみんなで温かく応援しましょう。がんばれ、『りゅ〜ぽん』！



▲25周年で誕生したゆるきゃら『りゅ〜ぽん』

絵本で笑顔！フォトコンテスト

記念セミナーでは、第5回『絵本で笑顔！フォトコンテスト』の表彰式も行われました。

今回のコンテストのテーマは、『コロナ禍を踏まえて、『ステイホームで、絵本を楽しんでいるお子様やお孫さんの様子』。

多数の応募作品の中から、宇部市在住の永沼光代さんの作品がベストスマイル大賞に選ばれました。

絵本の続きを夢見ているような愛らしい光景は、写真を見る側も笑顔にしてくれますね。

絵本は、子ども達の心の栄養。

これからも、たくさん絵本を読んで楽しんでね！



▲第5回コンテストベストスマイル大賞作品

『ことばの化石』大集合！

25周年記念事業では、本の中の名文句や、お気に入りのフレーズを書き込んだ『ことばの化石』づくりワークショップが開催され、本と一緒に展示されました。

色とりどりの化石は、作品を連想させる絵を描いたり、個性的な文字で書かれていたり、興味深いものばかり。

名文句や名フレーズから感じた気持ちを風化させないよう結実した『ことばの化石』は、私達の心の奥にも眠っているのかもかもしれません。



▲当日展示された『ことばの化石』

FM サンサンきらら公開生放送！

屋外では、FM サンサンきらら（現「FM スマイル ウェ〜ブ」）特設スタジオが設置され、『どこでもワープFM、図書館からビブリオラジオ』と銘打って公開生放送が行われました。

出演者は、藤田市長をはじめ、長谷川教育長や各コンテンツの受賞者、ことばの化石ワークショップ参加者、山本館長など、バラエティ豊富なメンバー。

それぞれの話題も、おすすめの一冊や、受賞作品に込めた想い、本との関わり方など多種多様で、とてもユニークで面白い生放送でした。



紹介された一冊▶
『ガンリン生活』
伊坂幸太郎著



この他にも、開館25年の歩み写真展やハーブの苗など記念品のプレゼント、書庫の開放、新型コロナ退散を祈念したアマビエコーナーなど、趣向を凝らした各種イベントは好評を博していました。

地域の方々にも愛され続ける中央図書館。

これからも地域の元気発信拠点として、末永く活躍していくことを願っています！

（文：山田幸司）